2011（平成23）年度　大阪市ボランティア情報センター災害救援・復興支援活動

※同年度大阪市社会福祉協議会事業報告書より抜粋

（１）災害ボランティアのコーディネーションに関する取り組み

①ボランティアバスの運行

４月１９日（火）～２３日（土）　行き先：宮城県石巻市　※
４月２５日（月）～２９日（金・祝）　行き先：宮城県石巻市　※
５月１０日（火）～１４日（土）　行き先：宮城県石巻市　※
５月２４日（火）～２８日（土）　行き先：宮城県東松島市　※
５月３１日（火）～６月４日（土）　行き先：宮城県多賀城市、石巻市　※
６月　７日（火）～１１日（土）　行き先：宮城県多賀城市、石巻市　※
７月１２日（火）～１６日（土）　行き先：宮城県気仙沼市
７月１９日（火）～２３日（土）　行き先：宮城県気仙沼市
７月２６日（火）～３０日（土）　行き先：宮城県気仙沼市
８月２３日（火）～２７日（土）　行き先：岩手県陸前高田市
８月３０日（火）～９月３日（土）　行き先：岩手県陸前高田市
９月　６日（火）～１０日（土）　行き先：岩手県陸前高田市
以上、東北方面への運行、合計１２回（延べ４８０人の参加）
※は大阪府社協、堺市社協との合同運行
※その他、別途大阪市社協としての被災地社協への応援職員の派遣あり

９月２８日（水）～３０日（金）　行き先：和歌山県新宮市熊野川町
１０月１１日（火）～１３日（木）　行き先：和歌山県新宮市熊野川町
以上、和歌山県新宮市（台風１２号豪雨）への運行、合計２回（延べ３６人の参加）
※その他、別途大阪市社協としての被災地社協への応援職員の派遣あり

②避難者支援活動等に関するボランティア活動

・救援物資の仕分け、整理（３月２８日～４月２８日）活動者５８人
・「第１回がんばろう東北 住民のつどい」（４月１７日）活動者２５人
・「がんばろう日本 がんばろう東北 被災地支援コンサート」会場整理（４月２８日）活動者２０人
・「思い出は流れない写真救済プロジェクト」説明会参加（７月２日・４日）活動者１００人
・「9.23 大阪から元気を届けようチャリティーバザール」運営スタッフ（９月２２日・２３日）活動者９５人
・「11.23 東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」（１１月２３日）活動者６２人
・「1.22 避難者料理教室～東北×関西クッキング～」（１月２２日）活動者５人
・「3.11 from KANSAI」（３月１０日・１１日）活動者７７人

延べ８回の機会において、４４２人が活動した。

③災害ボランティア交流会の開催

＜日　時＞　１０月１８日（火）午後０時～１時

＜場　所＞　大阪国際交流センター

＜参加者＞　２０人

＜内　容＞　帰阪後の各自の災害ボランティア・復興支援活動の状況の共有など

④メーリングリスト「おおさか助け合いネット」（ＯＴネット）の開設・事務管理

ボランティアバス参加者、その他避難者支援活動など、市社協の呼びかけに応じて活動した災害ボランティアを中心に、気軽に情報交換を行うためのメーリングリストを開設した。

＜開始日＞　１１月２日（水）

＜参加者＞　２０２人（3 月 31 日時点）

⑤災害ボランティアリーダー研修会の開催

＜日　時＞　３月２５日（日）午前１０時～午後３時３０分

＜場　所＞　山西記念福祉会館、扇町公園周辺

＜参加者＞　５人

＜内　容＞　①障がい者の避難シミュレーション企画への参加

②災害ボランティアセンターの基本（グループディスカッションを中心に）

（２）避難者支援に関する取り組み

①東北－大阪をつなぐ情報紙「ＩＭＯＮＩＫＡＩ（いもにかい）」の発行

６月以降、毎月発行（延べ１０号、２５００部発行）

→区社協の協力を得て、区社協職員から避難者への手渡しを基本に配布

②各種相談会、交流会・茶話会などの開催

（Ａ）「第１回 がんばろう東北　住民のつどい」開催

＜日　時＞　４月１７日（日）午前１１時～午後３時

＜場　所＞　大阪市社会福祉研修・情報センター

＜参加者＞　５３世帯・１３７人

＜内　容＞　①入居している住宅ごとにテーブルを分け交流

②地域住民ボランティア手作りの食事

③USJ キャラクターショー

④保育ルームの設置

⑤市民からの提供物の無料バザー（日用品・家電等）

⑥各種相談会（法律相談、就労相談、県事務所職員への相談）

（Ｂ）「第２回 がんばろう東北　住民のつどい」開催

＜日　時＞　６月１２日（日）午後１時～午後４時

＜場　所＞　ヒルトン大阪（会場提供：ヒルトン大阪）

＜参加者＞　５５世帯・１２８人
＜内　容＞　①避難者の避難元市町村ごとにテーブルを分け交流
②ヒルトン大阪からの食事提供
③大阪弁護士会からの情報提供
④各種相談会（法律相談、就労相談）
⑤キッズコーナーの設置

（C）避難者のこども会「あさがお」への協力（１）信太山デイキャンプ
＜日　時＞　６月２６日（日）午前９時～午後３時
＜場　所＞　大阪市立信太山青少年野外活動センター
＜参加者＞　９世帯３３人
＜内　容＞　①避難者家族の送迎
②当日のレポートを情報紙「ＩＭＯＮＩＫＡＩ（いもにかい)」へ掲載

（D）避難者のこども会「あさがお」への協力（２）ＵＳＪへのご招待
＜日　時＞　８月４日（木）午前９時～午後５時
＜場　所＞　ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
＜参加者＞　６８人
＜内　容＞　①避難者家族の子どもの送迎、場内での連れ添い
②各報道機関へのプレスリリース

（E）避難者向け就職相談会の開催
＜日　時＞　１２月６日（火）午前１０時～午後４時
＜場　所＞　大阪市立社会福祉センター１階　特別談話室
＜参加者＞　７人
＜内　容＞　①大阪府緊急雇用創出基金事業「震災被災者 JOB フェニックス事業」の受託先企業である株式会社パソナ、大阪市しごと情報ひろばの担当職員と個別での就労相談
②日本エステティック協会所属のボランティアによるフェイシャルマッサージ

（F）避難者交流会「Café IMONIKAI」の開催
＜日　時＞　１２月１９日（月）午前１０時～午後０時
＜場　所＞　大阪市立社会福祉センター１階　特別談話室
＜参加者＞　２７人
＜内　容＞　①自由にテーブルを囲んでのお茶会
②子どもの預かり保育（協力：NPO 法人み・らいず)

（G）第１回「原発賠償説明会＋なんでも相談会」への協力
＜日　時＞　２月１６日（木）午後１時～４時

＜場　所＞　クレオ大阪南館
＜参加者＞　１０人
＜内　容＞　①当日参加者全体を対象にした原発賠償説明（大阪弁護士会）
②個別法律相談（大阪弁護士会）
③生活相談等その他の相談（大阪市社協、大阪市女性協会）

（H）第２回「原発賠償説明会＋なんでも相談会」への協力
＜日　時＞　２月２４日（木）午前１０時～午後１時
＜場　所＞　クレオ大阪北館
＜参加者＞　８人
＜内　容＞　①当日参加者全体を対象にした原発賠償説明（大阪弁護士会）
②個別法律相談（大阪弁護士会）
③生活相談等その他の相談（大阪市社協、大阪市女性協会）

（３）震災復興支援に関する取り組み

①「被災地支援アクションプランセミナー～企業市民として何ができるのか～」開催
＜日　時＞　４月４日（月）午後３時～５時３０分
＜場　所＞　大阪市立社会福祉センター３階第１会議室
＜参加者＞　６５人
＜内　容＞　①災害ボランティアセンター現地支援の状況報告
報告者：大阪市社会福祉協議会の現地派遣職員、ボランティア協会
②自社の強みを活かした被災地支援を考えるワークショップ
ファシリテーター：藤原 明氏
（りそな総合研究所 プロジェクト・フェロー）

②「9.23 大阪から元気を届けようチャリティバザール」への参加（同バザール実行委員会への参画）
＜日　時＞　９月２３日（金・祝）午前１０時～午後３時
＜場　所＞　マイドームおおさか
＜参加者＞　５８４６人
＜内　容＞　①避難者に協力を仰ぎ、東北郷土料理（芋煮・ずんだ餅）の振る舞い
②関係各所へブース出展・ステージ出演協力の依頼
③郷土料理の調理、全体の運営に関するボランティアの募集
※大阪市社協・ボランティア情報センターとしての企画内容

③「東日本大震災シンポジウム～東北からのメッセージ・大阪からのメッセージ～」の開催
＜日　時＞　１０月１８日（火）午前１０時～午後０時
＜場　所＞　大阪国際交流センター
＜参加者＞　１９０人

＜内　容＞　①「思い出は流れない写真救済プロジェクト」代表・高井晋次氏による基調講演
②パネルディスカッション「東北からのメッセージ、大阪からのメッセージ」

④「11.23 東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」への協力
＜日　時＞　１１月２３日（水・祝）午前１１時～午後６時
＜場　所＞　扇町公園、山西記念福祉会館
＜参加者＞　３０００人
＜内　容＞　①避難者支援・冬物衣料無料バザー
②避難者に協力を仰ぎ、東北郷土料理「芋煮」の振る舞い
③街中被災シミュレーション企画への協力
※大阪市社協・ボランティア情報センターとしての企画内容

⑤「3.11 from ＫＡＩＳＡＩ」への参加（同事業実行委員会への参画）
＜日　時＞　３月１０日（土）～１１日（日）午前１０時～午後５時
＜場　所＞　梅田スカイビル
＜参加者＞　５５００人
＜内　容＞　①関西圏を対象にした避難者のつどい 3.11 with KANSAI
②避難者支援・春物夏物衣料、おもちゃバザー
③東北郷土料理「芋煮」の振る舞い
※大阪市社協・ボランティア情報センターとしての企画内容

⑥「第２回 東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」への協力
＜日　時＞　３月２５日（日）午前１１時～午後５時
＜場　所＞　山西記念福祉会館、扇町公園
＜参加者＞　５００人
＜内　容＞　①芋煮の振る舞いの協力
②街中被災シミュレーション企画への協力
※大阪市社協・ボランティア情報センターとしての企画内容

（４）その他の救援活動、災害ボランティアに関する取り組み
①救援物資等、資源提供に関するコーディネーション
延べ 150 件（避難者への生活用品、交流会等への運営協力、被災地への支援物資など）
②相乗りプロジェクトへの参画
大阪ボランティア協会、積水ハウス、大阪市、大阪市社会福祉協議会・ボランティア情報センターによって実施された、被災地への柔軟な物資提供の仕組み。積水ハウスが提供した 10ｔトラックに、当センターなどがキャッチしたニーズに基づき、大阪市をはじめとした提供可能先から資源を預かり、現地へ送るというもの。延べ９回、トラックが運行された。

③災害ボランティアセンター連絡会の開催

市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定締結団体である大阪市、日本赤十字社大阪府支部、大阪市社協の三者による連絡会を開催し、情報交換・研修企画の検討などを行った（今年度は２回）

④区役所・区社協　災害ボランティアセンター合同研修会の開催

＜日　時＞　３月１９日（月）午後２時～４時

＜場　所＞　大阪市社会福祉研修・情報センター

＜参加者＞　１５６人

＜内　容＞　①これまでの災害ボランティアセンター設置・運営訓練の振り返り

② 東日本大震災における地域福祉ベースの行政支援・社協支援の実際

③ 今後の区災害ボランティアセンターのあり方を見据えて